

田老第一中学校生徒による生コンクリート製造体験学習会

概要

三陸沿岸道路は、宮城県仙台市から青森県八戸市の沿岸を結ぶ延長359kmの自動車専用道路です。急峻な地形による急勾配、急カーブを解消し、迅速な救急搬送が可能となるとともに、津波浸水区間を回避することで安全・安心な住民生活に貢献するものと期待されています。三陸沿岸道路の工事が今後本格化し、生コンクリートの需要が急増する見通しであることから、太田国土交通大臣の指示により、宮古地区において「公共プラント」を新設することになりました。

この度、この「公共プラント」の稼働に先立って、プラント建設及び運営を担当する「大成・銭高・東コン特定建設工事共同企業体」が生コンクリート製造体験学習会を企画し、田老第一中学校が進める総合学習の一環として、下記のとおり行われました。

田老第一中学校生徒による生コンクリート製造体験学習会 開催状況

開催日時：平成26年8月26日(木) 11:00～

開催場所：宮古市田老地区



▲8月31日(日)に稼働を開始する公共プラント



▲公共プラントの概要などについて説明



▲セメントや砂利などを混ぜて作る様子を間近で見学



▲生コンクリートの流動性を測る「スランプ試験」を体験



▲コンクリートの強度をシュミットハンマーを使って測定



▲最後はみんなで記念撮影